

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		障害者社会参加促進事業		事業番号	
担当部署名		健康福祉 局 障害福祉 部		障害施策推進 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2 関連計画		第4次堺市障害者長期計画					
3 事業開始年度		平成 20 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称：障害者総合支援法） 堺市障害者団体社会参加促進事業補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会				対象数	単位
						1	団体
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	研修開催や参加、社会見学を通じて、障害者団体や障害者、その家族の交流や資質向上を図るとともに、地域社会との交流を深め、社会参加を促進する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会に加入している障害者団体が開催・参加する研修会等に必要経費（講師謝礼金や印刷製本費、会場・自動車借上料など）の1/2を補助する。 なお、令和2年度までは自動車借上料のみの全額補助であったが、令和3年度からは障害者の社会参加をより幅広く促進するため事業内容を見直し、補助対象経費を拡大したうえで、補助率を1/2としている。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	点検対象年度 令和7年度
11 参加者数	人	目標値	600	540	540	540
		実績値	859	1,296		
		達成率	143%	240%		
当該指標を選定した理由		補助があることにより行われた研修会等への参加者数増が、障害者団体の社会参加促進の指標になると考えられるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標…補助対象が変更となったため、1研修会に20名参加の見込で設定。(R2年度実績)				
12 補助件数	件		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		目標値	30	27	27	
		実績値	31	40		
	達成率	103%	148%			
当該指標を選定した理由		補助件数を増やすことが、障害者の社会参加の機会を増やすことに直結するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績に基づき、毎年度協議（補助上限額から積算）				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者社会参加促進事業	事業番号	011-113
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	694	1,527	2,700	2,124	2,700
13 財源内訳	国支出金		0		0
	府支出金		0		0
	市債		0		0
	その他 ()		0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0
	一般財源	694	1,527	2,700	2,124
14 人件費 (b)	820	820	810	810	810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,514	2,347	3,510	2,934	3,510

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	R5 決算	2,124	2,124		R5 決算		
					R6 予算	2,700	2,700
	R5 決算						
	R6 予算						
	R5 決算						
	R6 予算						
	R5 決算						
	R6 予算						
	R5 決算						
	R6 予算						
	R5 決算						
	R6 予算						

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① 参加者数	人	859	1,296
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,347	2,934
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,732	2,264
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和5年度は研修会等の実施回数を増やすことができたことや新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから、参加者数が昨年度比150%と大幅に増加した。これにより費用対効果も大きく改善した。

令和3年度から補助対象経費を拡大し、自動車借上料だけでなく団体が開催・参加する研修会等に必要な経費（講師謝礼金や印刷製本費等）にも補助金の活用を可能とした。このことも研修会等の実施回数増、団体の自主的な社会参加の機会増に寄与したと考えられ、補助金見直しの効果が表れたといえる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和5年度は令和4年度に比べ、補助件数が9件、参加者数が437人の増加となった。

コロナ禍で外出や団体行動を控えていた障害者の社会参加への強い欲求を示すとともに、本補助金による機会の提供が、そのニーズの受け皿として十分に機能したと言える。本補助金による数々の研修会等の参加・開催は、障害者自身の日々の生活の充実や障害者同士の心のつながりを再確認させ、障害者のみならず身近な家族にも好影響を与えたと考えられる。

これらのことから、本取組は堺市基本計画2025及び堺市SDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。